

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2006-119150 (P2006-119150A)

【公開日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報 2006-018

【出願番号】特願 2005-362596 (P2005-362596)

【国際特許分類】

G 0 1 N 1/28 (2006.01)

G 0 1 N 23/04 (2006.01)

G 0 1 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 1/28 F

G 0 1 N 23/04

G 0 1 N 1/00 1 0 1 A

G 0 1 N 1/28 W

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料室内の試料に荷電粒子ビームを照射する照射光学系と、
前記試料に前記荷電粒子ビームを照射して分離した試料片を摘出し移動する手段と、
前記摘出された試料片を載置する試料片載置手段と、
前記試料を前記試料室の内外に搬送する手段と、
前記試料の搬送経路にある気密遮蔽可能なバルブと、
前記試料片載置手段の搬送経路にある気密遮蔽可能なバルブとを備えることを特徴とする
試料作製装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の試料作製装置において、
前記荷電粒子ビームはイオンビームであることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の試料作製装置において、
前記試料片載置手段はカートリッジであることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の試料作製装置において、
前記カートリッジは透過電子顕微鏡に導入できるサイドエントリスステージに装着可能であることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の試料作製装置において、
前記カートリッジを複数個搭載できるカートリッジステーションを備えることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の試料作製装置において、

前記カートリッジステーションごと装置外に搬出可能であることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の試料作製装置において、

前記試料室内にガスを導入するガス導入手段を備えることを特徴とする試料作製装置。

【請求項 8】

試料室内の試料に荷電粒子ビームを照射する照射光学系と、

前記試料に前記荷電粒子ビームを照射して分離した試料片を摘出し移動する手段と、

前記摘出された試料片を載置する試料片載置手段と、

前記試料を前記試料室の内外に搬送する手段と、

前記試料の搬送経路にあって大気と遮断できるバルブと、

前記試料片載置手段の搬送経路にあって大気と遮断できるバルブとを備えることを特徴とする試料作製装置。